

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー本八幡駅南口教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数)	54
○従業者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援を行える職員を中心に児童指導員としてのキャリアが長い職員が多い。	集団支援など、まだ経験の浅い職員には難しい支援に対し、補助的に専門的支援が行える職員をつけ、支援について教授することで、職員全体の支援の質を向上を目指している。	専門職員を中心に、利用者支援の引継ぎをよりいっそう綿密に行っている。
2	子供に関する、近隣の情報が充実している。	この情報から運動療育とハッピーの利用を併用しはじめた利用者様が数名でたり、子供にとって有益な場を提供している。	今後も子供関係の施設、情報をリサーチし、営業も兼ねながら、より多くの情報を利用者様に提供していく。
3	子育てサポート加算の取得が多い。	毎月の製作物制作に全ての保護者様に入ってもらい、一緒に取り組んでいただく試みを行っている。	製作物の制作時に保護者様も一緒に取り組んでいただく試みは継続し、それ以外でも保護者様の支援への参加を提供していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など、保護者間のつながりが希薄。	保護者様ご自身がそれを望んでいない方も多く、現状、積極的に開こうとは思っていない。	集団利用の保護者様は、徐々に仲良くなり、積極的に交流している姿が見受けられ、上記しましたが、個別利用の集団授業参加で、保護者間の交流が盛んになればと考えています。
2	家族支援が弱い。	部屋数の問題などもあり、思うように家族支援ができていない状態が続いていたが、相談室を設置したこともあり、今後は積極的に家族支援も取得していきたい。	フィードバック等での周知の徹底を行う。
3	教室の老朽化が進んでいる。	メンテナンスも必要と思われるが、職員一同でしっかりと清掃や教材等の修復を行い、利用者様に快適な空間を提供できるように心がける。	カーペットの汚れ、壁の汚れなど、経年の劣化があり、教室全体のメンテナンスが必要と思われる。